



大下 良仁

Oshita Yoshihiro

2010年修了
2012年裁判官任官

皆さんの飛躍を期して

九州大学法科大学院には様々な特色があります。OBとして特に強調したいのは2点です。

まず、アピールしたいポイントは良好な勉強環境です。法科大学院生にとって、なにより大事なものは勉強環境だと思えますが、九州大学では、24時間利用可能な1人1席の専用机が用意されています。24時間利用可能で、各自専用の机があることのメリットは計り知れないのだと思えます。また、院内には学生が自由に使えるゼミ室が用意されており、自主的な勉強会が盛んに行われています。私も同期の仲間と積極的に自主ゼミを組み、互いに切磋琢磨しながら勉強しました。

法曹として活躍するためには、高度に専門的な知識と技能が必要なことはもちろんですが、それだけでは十分ではありません。実務家として活躍するためには、旺盛な独立心が必要です。そのため、ただ受動的に教えられるという立場にとどまるのではなく、自ら積極的に学び取っていくという自学自修の精神が求められます。九州大学はその精神を育むための絶好の環境を与えてくれているのです。

次のポイントは、多彩な教員陣です。法科大学院教員の先生方はとても教育熱心で、研究室に質

間に行けば、いつも歓迎してくれました。また、九州大学では、多くの実務家と関わることができません。法曹を目指す院生にとっては、本当に貴重な経験になると思います。実務家と交流することで、自分の進む道を決める院生も多いのではないかと思います。私自身も、裁判官教員の先生と接するうちに、裁判官を志すようになりました。また、九州大学のOB・OGの方々の多くは、九州各地で弁護士として御活躍されており、法科大学院に講師として来られる方も多いので、九州で弁護士を目指されている方にとっては、先輩方と知り合える絶好の機会になるのではないかと思います。

司法試験、司法修習を経て、裁判官として実務に携わるようになりましたが、九州大学で学んだことの大切さを日々噛みしめています。また、大学院で共に学んだ仲間やお世話になった先生方との繋がりは今でもかけがえのないものです。

皆さんも、是非九州大学法科大学院の恵まれた環境の中で、法曹への第一歩を踏み出してください。きっと、法曹として大きく飛躍するための力が身につくと思います。実務の現場でお会いできることを楽しみにしています。